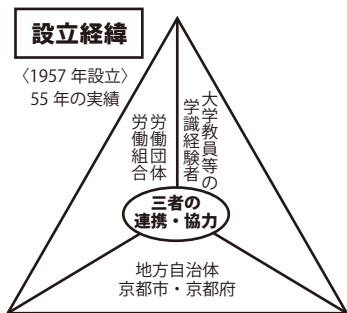


公益社団法人 京都勤労者学園の概要

(愛称:ラボール学園)



設立目的

勤労者の能力の向上、仕事と生活の調和の実現及び質的向上に寄与すること

法人の活動

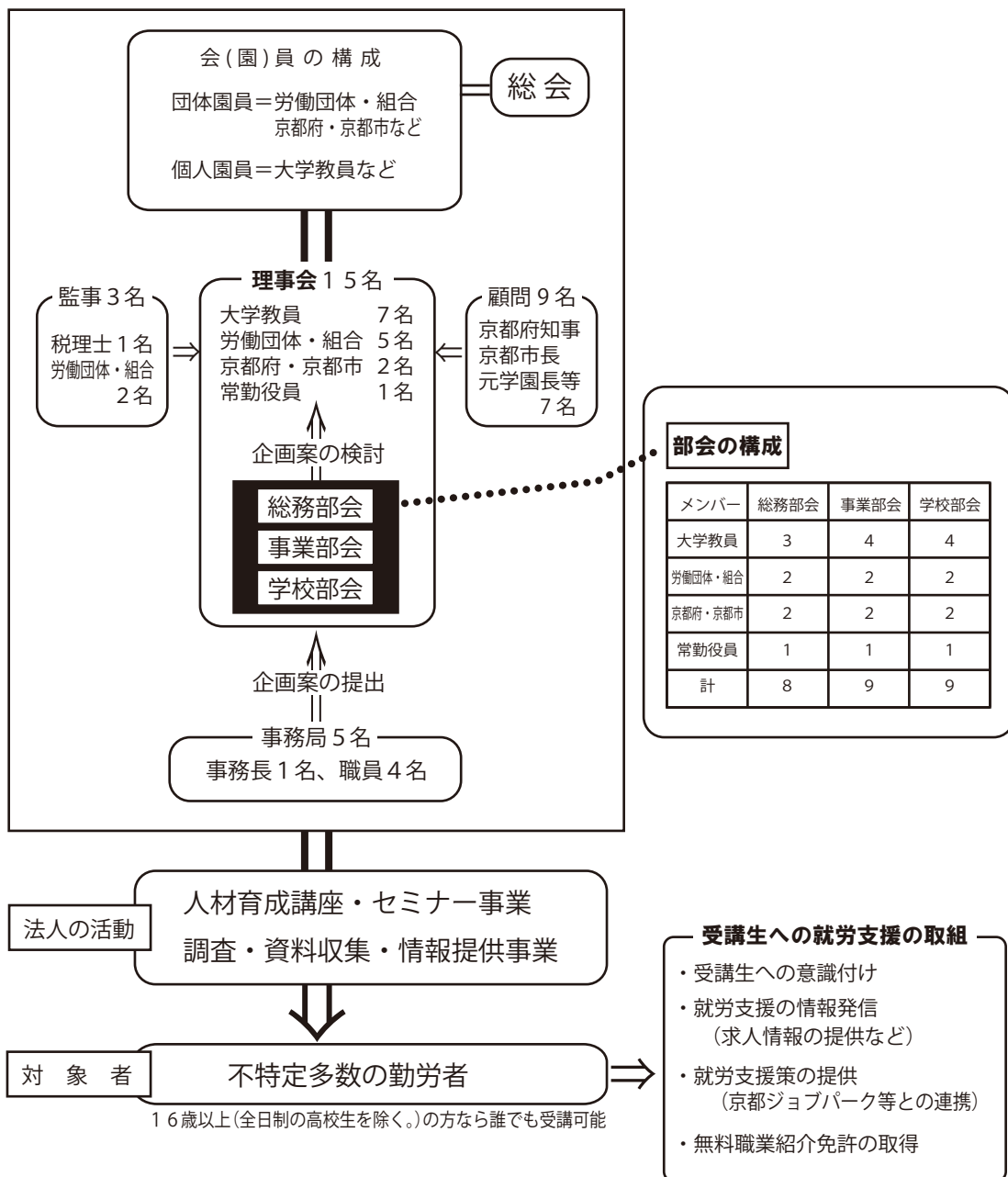
勤労者の就労の支援として知識・技能と教養を高め、その能力と地位の安定と向上を図る社会文化教育に関する事業を行う。

事業の企画・運営の流れの特徴

勤労者に対する意識調査などを通して勤労者のニーズを把握して事務局案を作成し、理事会の中の部会で検討して、理事会及び総会で承認し、実施する。



受講料の低廉さ以外の、民間カルチャー施設との大きな相違点



公的目的事業の詳細

- 公 1** 人材育成講座・セミナー事業 ⇒ **有料** (1) 京都労働学校 = 京都市からの受託事業で夜間常設
(2) 府市民教室文化教養講座 = 京都市との共催事業で午前・午後が開講
- 無料** (1) 公開セミナー
(2) 求職者支援訓練事業
(3) 他団体との協働及び講師幹旋による講座
- (注) 下線事業の開講内容等は、別紙の受講案内書を参照

- 公 2** 調査・資料収集・情報提供事業 ⇒ (1) 勤労者の意識及び実態調査
(2) 労働関係各種資料・図書収集と保存
(3) 勤労者への情報提供(紙及びインターネットによる配信)

- 収益事業** 人材育成講座・セミナー事業 ⇒ **有料** (1) 京都労働学校 の一部
(2) 府市民教室文化教養講座 の一部

事業の公開・広報

学園のHPはもとより、京都市の市民しんぶんや市政広報板の活用及び京都府・京都市関係の公共施設での受講案内書の配架を中心に、広報活動を行っている。